

標準規格は普及しているか

ユーザの立場から 普及を考える

千葉ろうさい病院
医療情報管理部/中央放射線部
多田 浩章

本日の内容

- ある中規模病院における標準規格の使用状況
- 考察

病院紹介： 労働者健康安全機構千葉労災病院

- 所在地
 - 千葉県市原市辰巳台東2-16
- 概要
 - 400床(一般) 21診療科 7対1看護
 - 臨床研修指定病院, 地域がん診療連携拠点病院, 地域医療支援病院, 災害拠点病院, DPC医療機関Ⅱ群指定
- 平成29年度実績
 - 入院11,322件/年 平均在院日数10.7日
 - 外来1112.9人/日 照会率81.9% 逆照会率82.7%

情報システム環境

- 6コアCPUを2機搭載したブレードサーバ:11台
- プライマリストレージ:102TB
- バックアップストレージ:120TB
- サーバキャビネット:3本
- マルチベンダ23システムを統合
 - 電子カルテ, PACS, RIS, 画像所見, 生理検査, 調剤支援, 薬剤在庫管理, 診断書作成支援, 3D画像解析, グループウェア, インターネットメール&WEB, 心電図波形管理, 注射薬払い出し, 生体情報管理, 分娩監視, ナースコール, 手術映像記録配信, バーチャルスライド, 眼科診療支援, ME機器管理, 位置情報管理, 入室, 入室管理

ユーザから見た標準規格の分類と利用状況1

- 分類: マスタ

利用状況	標準規格
×	HS001 医薬品HOTコードマスター
○	HS005 ICD10対応標準病名マスター
○	HS013 標準歯科病名マスター
×	HS014 臨床検査マスター
△	HS017 HIS, RIS, PACS, モダリティ間予約, 会計, 照射録情報連携指針(JJ1017 指針)
×	HS024 看護実践用語標準マスター
×	HS027 処方・注射オーダー標準用法規格

ユーザから見た標準規格の分類と利用状況2

- 分類: 通信仕様

利用状況	標準規格
○	HS011 医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)
×	HS012 JAHIS 臨床検査データ交換規約
×	HS016 JAHIS 放射線データ交換規約
×	HS022 JAHIS 処方データ交換規約

ユーザから見た標準規格の分類と利用状況3

- ・分類: 情報定義

利用状況	標準規格
○	HS011 医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)
×	HS028 ISO 22077-1:2015 保健医療情報-医用波形フォーマット-パート 1:符号化規則

ユーザから見た標準規格の分類と利用状況4

- ・分類: 院外連携仕様

利用状況	標準規格
×	HS007 患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書(患者への情報 提供)
○	HS008 診療情報提供書(電子紹介状)
○	HS009 IHE統合プロファイル「可搬型医用画像」およびその運用指針
×	HS026 SS-MIX2 ストレージ仕様書および構築ガイドライン
○	HS031 地域医療連携における情報連携基盤技術仕様

考察：ユーザが標準規格を使用するモチベーション

- 構造化された入力環境を使って省力化したい
 - 構造化されていないシステムでは不要？
- 院外との情報交換を低コストで行いたい
 - 独自仕様が確立していれば不要？
 - システム更新時には役立つ
 - 院外との連携にも役立つ
 - 但し、システムがなければ無用？
- ビッグデータ解析の恩恵を受けたい
 - データの標準化は必須

考察：共通規格利用の障壁

- システム上の制限（データベース構造，コードの桁数...）
 - システム要件を満たすものにお墨付きを！
- 各システム，ユーザ間でのワークフローの相違
 - 運用の標準化を促すことも必要
- ユーザの認識・理解不足
 - 啓蒙活動
- 実装に強制力がない
 - インセンティブが必要では？

まとめ: ユーザの願い

- より質の高い医療を提供したい
- 業務効率を高めたい
- 低コスト



標準化が進んで欲しい